

# 事業評価シート（平成24年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	災害用備蓄拡充事業		
事業担当	防災危機管理部 災害対策課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	①〈安 全〉 災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'02	2 被害を最小限に抑える防災の環境を充実する	
根拠法令等	災害対策基本法、平塚市地域防災計画		
対象・受益者	市民・職員・防災関係機関	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
災害発生後において指定避難施設を開設した際に、避難者に対して食糧や災害用トイレ、毛布などの必要物品を、速やかに提供することができています。		震災体制の充実のため、指定避難所に、資機材、食糧、生活必需品等を備蓄します。また、防災倉庫の整備を進めます。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	防災倉庫整備率				単位	%
	説明・算定式	防災倉庫設置施設数(累計)÷指定避難施設数(52施設)×100					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	70.6	72.5	82.6	100		
	実績	63.4	63.4	82.6			
成果指標②	指標名	避難所用間仕切り備蓄率				単位	%
	説明・算定式	備蓄済みの間仕切り数÷(指定避難施設数(52施設)×4台)×100(平成24年度から)					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標			75	80		
	実績			77			
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
神奈川県が発表した被害想定を踏まえ、保存食や災害用トイレ等のほか、女性や要援護者に配慮した用品として避難所用間仕切り等を備蓄しました。また、屋外に防災備蓄倉庫がない避難所に、新たに防災備蓄倉庫を整備しました。							
平成24年度の検証結果	A：成果があがった						

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	災害発生時の避難生活に必要な食糧及び生活必需品の備蓄であり、必要性が高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	災害時に被災者に対し、食糧や生活必需品を速やかに提供します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	個人及び地域の防災力の向上につながり、妥当性が高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	企業等から災害時支援物資の提供を得るため、災害時応援協定を締結し、事業の効率化を図ります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 市民自らが食糧及び身の回り品等の3日分相当の家庭内備蓄が励行できるように、訓練等を通じて働きかけていく必要があります。また、現物による優先的に必要な物品等の備蓄を図るとともに、企業等との災害時支援物資の提携に関する協定を図る必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		備蓄品の購入、備蓄倉庫の設置	備蓄品の購入	避難所照明灯、食糧、災害用トイレ等の備蓄、防災倉庫の設置等	避難所照明灯、食糧、災害用トイレ等の備蓄、防災倉庫の設置等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	3,138	0	9,847	8,334
	起債	0	0	16,200	16,800
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	4,939	17,539	18,542	33,256
事業費 (A)		8,077	17,539	44,589	58,390
執行率 (%)		99.47	92.31	96.00	
内訳	職員 (人)	1.10	1.10	0.70	0.55
	再任用 (人)	0.10	0.10	0.15	0.30
人件費 (B)		9,426	9,251	6,121	5,392
フルコスト (A+B)		17,503	26,790	50,710	63,782

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成26年度の取組方針</b> 平成21年度に神奈川県から公表された地震被害想定のもとに備蓄を進めていくとともに、効率的な備蓄品の進行管理を図ります。
<b>課長コメント</b> 大規模地震の切迫性も考慮し、食糧や避難所に配備するトイレ、間仕切り等の備蓄を継続していきます。